

2024

8

August
No. 378

広報

みしま

Mishima Town Public Relations



「未来に向かって大きく羽ばたけ！！」 令和6年度 三島中「立志式」

令和6年度三島中学校立志式は7月12日、交流センター山びこにおいて举行されました。式では、三島中2学年4名に立志証書が授与され、一人ひとり立志の言葉を述べ、将来に向け決意を新たにしました。

三島中生の皆さんが立志の言葉を胸に、未来へ大きく羽ばたくことを祈っています。

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

将来を考え、将来につながる立志式

7月12日に三島中伝統の立志式が行われました。立志の年を迎えた2年生4名は、「十人十色（浅見鳳花）」「継続は力なり（石岡健志郎）」「人間力の向上」（二瓶伸悟）、「雲外蒼天」（布川芽依）と、それぞれに自分の気持ちを立志の言葉にして述べました。

立志を迎えた2年生の態度は非常に立派で、保護者のみなさんは確かな成長を喜ばれていました。

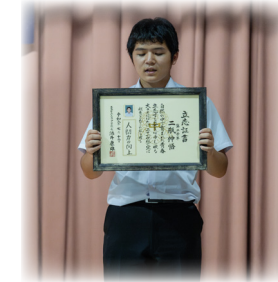
立志式を迎えるにあたり、中学校では、小学校からの学びを振り返り、志と夢を考え、将来を考える学習を繰り返してきました。将来につながる立志式になるように立志の意義を今後も子どもたちとともに確認しながら学びを深めていきます。



浅見鳳花さん



石岡健志郎さん



二瓶伸悟さん



布川芽依さん



立志証書授与



励ましのことばを送る齋藤翔子さん（3年）

※「立志」という言葉は、中国の思想家で、儒教の祖である孔子が15歳のときに、自分の進むべき道を見つけ、それに向かって努力しようと決意したことから、数え年の15歳（現在の中学2年生）を「立志」（志を立てる）と呼ぶようになりました。

家庭バレーボール2年ぶり優勝！！ 白熱！地域スポーツ両沼大会



優勝した家庭バレーボールみしまの皆さん

7月7日に第77回福島県総合スポーツ大会両沼地域大会が柳津町の各会場で開催されました。

三島町は家庭バレーボールと壮年ソフトボール、ラージボール卓球の3種目に出場し、日々の練習の成果を存分に発揮しました。

ソフトボールは、一回戦で強豪柳津町に大量のリードを守りきれず、惜しくも逆転負けしました。卓球は柳津町に貴重な一勝をあげ健闘しました。バレーボールは、準決勝で前年度会津大会でも優勝した金山町、決勝では昭和村との激闘を制し、2年ぶりの優勝を果たし、会津大会への出場を決めました。



▲生活工芸アカデミー開講式での受講生のお二人（中央前列2名）と関係者の皆さん

令和6年度

三島町生活工芸アカデミー開講 ～山村の暮らしの中で生活工芸を学ぶ～



▲開講式の様子

7月9日に生活工芸館において、令和6年度三島町生活工芸アカデミー開講式が執り行われ、2名の受講生を迎え入れました。

受講生のお二人は浅岐地区、宮下地区に住み、編み組細工や農業を学ぶとともに、地区の行事等への参加をとおして町民との交流を深めながら生活していきます。

町民の皆さまも町内でアカデミー生を見かけた際は、お気軽にお声かけください。



たかしま みのり
(新潟県)

新潟から来ました高島みのりです。民具が大好きです。三島の生活を楽しんでいきたいです。



おしお しゅん すけ
小尾 俊 輔
(埼玉県)

三島の編み組細工が海外でも注目されるようにしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いします。

消火栓の使用訓練～滝谷婦人会（6月6日）

目黒 民一（滝谷）

6月6日夜7時より、消防団滝谷班と滝谷婦人会では、消火栓の使用方法について訓練を行いました。この日は、滝谷班の定例招集日で団員による通常点検等を見学し、その後、実際に消火栓を使ってホースの脱着や放水等に真剣に取り組みました。

会員の皆さんは、有事の際の備えを再確認するとともに、火災等を各家庭から絶対に出すことはないように誓いを新たにしました。



地区に流れる水路をすっきりと～土砂上げ作業～（6月29日）

小島 純さん（宮下）

倉掛水路の土砂上げ作業が6月29日に行われました。宮下地区役員と今年も三島町消防団宮下班の協力を得て、午前9時から作業を開始しました。持参したスコップを持って2ヶ所の水路の穴に入り、1年間溜まった土砂をかき出しました。

班員の皆さんの若い力も加わり、バケツに溜まった土砂をロープで引き上げる作業も、予定より早く終わることができました。皆さんお疲れさまでした。



「楽しく元気に」 西方健康のつどい（6月29日）

本名 与四郎さん（西方）

西方健康を守る会は、昨年に引き続き6月29日の午前10時よりふるさとセンター体育館で行われました。前回より、健康を守る運動会から、規模を縮小した「健康のつどい」という形で実施されました

西方の住民、約20名以上の皆さんが参加しました。健康を守る会の会長である渡部吉一さんによる「楽しい、ひとときを過ごしましょう」という開会宣言を皮切りにゲームが始まりました。誰もが気軽に楽しめる、ポッチャ、わなげ、マジックによるダーツなどニュースポーツを取り入れながら、健康増進を図ることを目的として、和気あいあいと楽しく挑戦していました。

特に、楽しく挑戦したゲームは、パラリンピックの種目の一つとして紹介され、老若男女を問わず楽しまれている「ポッチャ」というニュースポーツに関心を持ち、1対1となつての攻防が見られました。和やかな雰囲気の中、勝敗「フレイルは 何もしないと 足にくる」にこだわらずゲームが繰り広げられ、盛会裏に終了しました。



滝谷健康を守る会研修旅行（7月7日）

目黒 民一（滝谷）

滝谷健康を守る会では、7月7日に18名の参加で山形県のどんでん平ゆり園と高畠ワイナリーへ研修旅行を行いました。当日は、ちょうど梅雨の合間の晴天で、ゆりの花も満開に咲き揃い優雅な香りを園内一杯に放っていました。ワイナリーでは、試飲コーナーもありみんなそれぞれ好みのワインをお土産に買い求めたりとバスの中では、話もはずみ楽しい旅行になりました。



滝谷婦人会 集会所の床ワックス掛け（7月10日）

目黒 民一（滝谷）

滝谷婦人会では、7月10日夜、毎月の常会を兼ねて床のワックス掛けを行いました。今年は、何年ぶりかで3名の方の新加入がありにぎやかな中で完了しました。その後に、会員の手料理で暑気払いと、慰労を兼ね和気あいあいと歓談をしながら喉を潤しました。



浅見晃司氏の仮面展 開催

「^{ことほ}まれびと ^{しょうじょう}言祝ぐ」～えびす・大黒から猩々まで～

令和6年6月8日～30日まで、交流センター山びこにおいて、名入在住の浅見晃司氏の仮面展が開催されました。会期中は訪れる神「まれびと」をテーマに浅見氏が打った（彫った）36の能面や舞楽面が展示され、来場者は食い入るように鑑賞されていました。

6月14日には民俗学者・赤坂憲雄氏との記念対談が行われ、古代から現代までの舞楽や能楽の歴史の遷り変わりを中心に芸能論が語られ、聴講者は熱心に耳を傾けていました。



▲展示された浅見晃司氏製作の仮面



▲左から赤坂憲雄氏、浅見晃司氏

三島の遺跡の出土品が展示中！

福島県立博物館の企画展・テーマ展

福島県立博物館（会津若松市）で現在開催されている企画展「縄文DⅩー会津・法正尻遺跡と交流の千年紀一」（9月1日まで）は縄文時代中期の会津・法正尻遺跡の土器・土製品を中心に展示しています。また福島県内だけでなく、東北や北陸、関東各地方との関わりを示すため、各地から集められた遺跡出土品が観覧できます。

三島町からは間方・入間方遺跡、西方・稲荷原遺跡、大石田・大石田居平遺跡の3遺跡計16点の土器や土偶を貸し出しており、他地域との関わりとともに展示されています。

また、テーマ展として同時開催されている「三島町荒屋敷遺跡を考える」（9月29日まで）では、町から県立博物館に寄託している荒屋敷遺跡出土品（国重要文化財）が数多く展示されています。普段は収蔵庫に保管され、なかなか見ることのできない二千数百年前の木製品や漆塗製品、繊維製品をはじめとする遺物が期間中に観覧できます。（どちらも観覧には料金がかかります。高校生以下は無料）



▲「三島町荒屋敷遺跡を考える」の会場



▲展示された稲荷原遺跡出土の土器

「熱中症予防」についての健康教育講座

福島県立医科大学看護学部の実習生

6月17日から7月12日まで、福島県立医科大学看護学部の4年生2名が公衆衛生看護学実習のため、三島町で家庭訪問や地区踏査などを行いました。7月4日の健康講座（地域包括支援センター主催）では、実習の一環として三島町の町民を対象に「熱中症予防」をテーマに健康教育を行い、地域の方々との交流を深めました。始終多くの笑顔があふれる温かい雰囲気、参加者の方からは「わかりやすかった」「楽しかった」「毎日暑いから気を付けて過ごしたい」などの感想がありました。



▲和やかな雰囲気で行われた健康講座



▲熱中症予防について説明

菅家 寿一さん（間方）

美女峠の道普請行われる（7月4日）

7月4日、峠の終点付近の掘られて歩きにくい箇所にも木道の設置が行われました。設置予定区間の一部ですが、快適に歩けるようになりました。

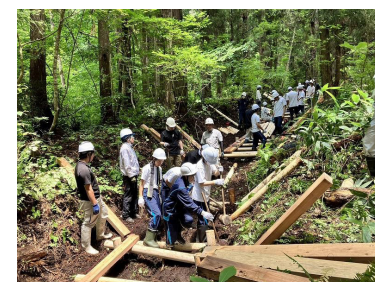
只見川沿いの道路や鉄道が整備される前は、銀山街道約72km（会津若松～銀山峠～石神峠～美女峠～吉尾峠～只見町）が主要道路でした。

県では、この銀山街道を「歩く県道」として、長年にわたり道普請により整備しています。

主催の会津若松建設事務所の職員、近隣町村の職員、そして、ボランティアの「銀山街道を活用して地域を元気にする会」等、総勢50名が参加して行われ、今回も、川口高校の2年生24名と教師も参加しました。大粒の汗をかきながら、泥まみれになって作業に取り組んでいました。徐々に杭打ちも釘打ちも上手になっていくのを見て感心しました。いい体験になったものと思います。

美女峠は、間方から野尻までの約8kmで、高姫伝説と歴史の峠道です。巡見使に随行した古松軒（江戸時代の旅行家）は、ここの楓を大変賞讃しています。皆さん、新緑や紅葉等の森林浴に、ぜひお越しください。

町内外の有志で結成している「かしや猫クラブ」では、11月3日に、参加者を募集して「美女峠トレッキング」を開催します。



国道400号刈り払い作業でスッキリ（7月8日～12日）

本名 与四郎さん（西方）

国道400号線を中心とした刈り払い作業は7月8日から12日までの5日間行われました。地区委員10名と元区長や地区委員OBによる、まだ陽が昇らないうちの作業となりました。

早朝5時より天候不順の大雨の中、2時間程度の作業が行われました。9日には、特に、風坂の遊歩道のフェンスに蔓が幾重にも絡み合っていたり、歩道周辺には雑草が鬱蒼と生い茂っていたり、蜂の巣もあつたりと危険な刈り払い作業となりました。また、通称、ばっけ（バッケ）沢と呼ばれている、広い敷地の草刈りでは、青木喜章さんと小松豊さんの二人で大粒の汗をかきながら、黙々と作業を進める姿が見られました。

今年も水面下でのコロナウイルスが終結されていないものの、お盆休み中にかけて多くの帰省客が予想されます。往来する国道400号線と柳津町と西方地区を結ぶ麻生県道線はスッキリとなりました。三島町が「日本で最も美しい村」連合となっており、一端を担うことができたと感じています。



敷地周辺をすっきりと～活性化センター除草作業（7月20日）

小島 純さん（宮下）

日中は連日猛暑が続く中の7月20日、宮下地区の皆さんが午前6時に宮下活性化センターに集合。活性化センター周辺の除草作業に汗を流しました。

住民の皆さんは、それぞれ持参した刈り払い機や鎌などでセンター前の花壇や敷地内の除草作業を行いました。

除草された雑草も結構な量になりましたが、作業を終えた後の花壇やセンター周辺はすっきりとし、涼しい風が吹き渡るようでした。



地域おこし協力隊

活動誌

イノシシの生態

鈴木 亮

皆さん、こんにちは。鳥獣対策専門員の鈴木です。

町内各地でイノシシによる農作物の被害が続いており、私も個人的に農を仕掛けたりして対応していますが、なかなか成果が上がっていないところではあります。

最近私は、イノシシを捕獲するために、もつとイノシシについて知らねばならないと思い、センサーカメラを設置してイノシシの行動を観察しています。

撮影した動画を確認して、思ったのは、「犬などと同じようにイノシシも尻尾で感情を表現しているのではないか。」ということです。

一部の場所で、イノシシを農におびき寄せるためにエサを撒いたところ、撒かれたエ



すずき 亮 さん

サを食べているイノシシは、いかにもうれしそうに尻尾をブンブンと振っているのですが、見慣れない尻尾を見て警戒しているときには尻尾を真上にピンと立てていました。もつともこれは私の思い込みかもしれませんが、被害防止には役に立たない情報なのですが、今後も農猫をする場合、イノシシがどれだけ農を警戒しているか、判断する材料になるかもしれません。イノシシの観察と研究は今後も続けますので、何か面白い発見があったら皆さんにもお伝えしたいと思います。

尻尾でわかる！？イノシシの喜怒哀楽

※ 筆者の思い込みが多分に含まれており、学術的な根拠はございません。ご了承ください。



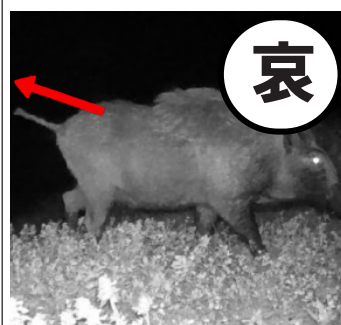
喜

撒かれたエサを食べるイノシシ。尻尾を横にブンブン振っています。おいしいエサにありついてご満悦のようです。



怒

見慣れない農を見て警戒するイノシシ。尻尾を真上に高く上げています。怒りとは違いますが、緊張感MAXの状態です。



哀

見晴らしのいい草原を移動するイノシシ。尻尾を横にまっすぐ伸ばしています。身を隠せない場所ではやはり不安を感じるのでしょうか。



楽

通いなれたエサ場でたたずむイノシシ。尻尾をダランと垂れ下がっています。気が抜けて脱力するのは人もイノシシも同じようです。

～妊娠期から子育て期まで 切れ目なくサポートいたします～ 三島町子育て世代包括支援センター



三島町では、健やかに安心して妊娠期を過ごし出産・子育てができるよう、切れ目ない支援をしていくための相談窓口として、三島町役場町民課内に“三島町子育て世代包括支援センター”を開設しています。妊娠・出産・子育てに関する相談について、どんな事でもお気軽にご相談ください。保健師や管理栄養士が相談に応じます。

例えば、こんな悩みや不安はありませんか？

- ・初めての妊娠で不安しかない
- ・赤ちゃんが泣きやまない。どうしたらいいの？
- ・育児に自信がもてない
- ・子育てがしんどい。誰かに話を聞いてもらいたい
- ・子どもの発達が心配、発音が気になる
- ・学校や保育所でのお友達との関わりが知りたい
- ・最近子どもがなんとなく元気がないように感じる

1人で悩まずに
相談してください。



必要に応じて保育所や学校・医療機関・福祉機関と連携しながら切れ目ない支援を行います。ちょっとしたことでも、お気軽にお立ち寄りください。

おじいちゃん・おばあちゃんからの相談もお受けします。



＜相談窓口＞

三島町役場町民課内

＜受付時間＞

●月曜日～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）

●午前8時30分～午後5時15分

（時間外での相談を希望の方はご相談ください）

●電話番号（テレビ電話同）

町民課保健福祉係 0241-48-5565

※窓口や電話相談のほか、家庭訪問等での相談も行います。

町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

妊産婦さんやその家族を支援します！ 三島町妊産婦交通費支援事業

妊産婦およびその家族の経済的負担の軽減を図り、安心して出産できる環境づくりを推進するため、妊産婦健康診査および出産等にかかる通院に要する交通費および宿泊費の一部を助成します。



【対象者】

三島町に住所を有し、母子手帳の交付を受けている方、および以下に該当する方とします。

- 1 町外の医療機関等において妊産婦健診等を受けた方
 - 2 町外の医療機関等において出産するための直前の準備として、町外に滞在し宿泊施設を利用した方
- ※ 救急車等で搬送された場合の交通費においては助成対象外とします。
- ※ 三島町外に転出した場合は、転出届の受理日までの交通費を助成対象とします。また、三島町に転入した場合は、転入届の受理日から交通費を助成します。

【助成期間】

母子手帳が交付され、県内の産科医療機関へ健診や通院を開始した日から通院または入院が終了する日までとします。また、出産後、当該妊婦の治療などのために通院が必要な場合は、産後6週間までを対象とします。

【助成額】

次に該当する交通費や宿泊費を合算したうち、8割を助成します。

- 1 自家用車：自宅（または里帰り先の住居）から医療機関までの距離×20円
- 2 タクシー：領収書に記載された料金（自宅または出先（県内）と産科医療機関の間の料金）
- 3 バス（鉄道）：自宅の最寄停留所（駅）から産科医療機関の最寄停留所（駅）までの料金
- 4 有料道路：領収書に記載された料金
- 5 有料駐車場：領収書に記載された料金
- 6 宿泊費は、宿泊に要した費用から2,000円／泊を控除した額を助成し、14泊を限度とします。

【申請について】

出生届の受理日から起算して6か月以内に申請書および申請内訳書を提出してください。

- ※ 自然死産した場合、死産の届出日の翌日から起算して6か月以内に提出してください。
- ※ 出産前に三島町外へ転出する者については、転出届の受理日の翌日から起算して6か月以内に提出してください。

町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

空き家セミナーのご案内 「住まいのエンディングノート」について

日時 令和6年8月13日(火) 午前9時30分から

会場 三島町民センター 大ホール

参加費 無 料

申込み 参加ご希望の方は、**8月7日(水)までに地域政策係**までご連絡ください。



第1部：空き家対策事業説明（9：30～10：00）

「三島町空き家対策支援事業のご紹介」

町で実施している以下の事業についてご紹介します。

- ◆空き家・空き地バンク
- ◆空き家に係る支援制度
- ◆空き家利活用事業 など

第2部：空き家セミナー（10：00～11：30）

「住まいのエンディングノート」

講師：水戸司法書士事務局 認定司法書士 水戸篤 氏
家系図や、建物・土地の状況に加え、これらを将来どうしたいかなどの情報を、住まいの所有者が記入して「住まいのエンディングノート」を作成し、住まいの「活かし方」「しまい方」に関する制度や手続きなどについて、詳しくご説明いただきます。

セミナー終了後に、司法書士矢木寅雄氏による個別相談を受け付けます（1組30分程度）。要予約となりますので、希望される方は申込時にお伝えください。先着順にて対応させていただきます。希望者が多い場合は、別日に調整させていただく場合もございますので、ご了承ください。

●地域政策課 地域政策係 ☎（48）5533

第7期生活工芸アカデミー始動 ～アカデミー生の活動紹介～



アカソの葉を取る

7月9日の開講式より、第7期生活工芸アカデミーの受講生が活動を行っています。はじまりの講座はヒロロ細工です。課題作品の制作を通して、縄ないや矢羽根編みなどヒロロ細工の技術を勉強しています。また実習と並行して、“生活工芸”や“奥会津編み組細工”についての座学を実施し、三島町や町の文化について、理解を深めているところです。ほかにも7月中旬に実施したモワダ採取に同行し、重い丸太（モワダ）を転がし、皮を剥いて、山での力仕事に汗を流しました。

今後、より多くの皆さまと交流ができればと考えておりますので、町で見かけましたら、お気軽にお声がけのほどお願いいたします。



▲生活工芸や奥会津編み組細工についての説明



▲モワダ採取

〈お盆期間中のものづくり体験について〉

8月8日(木)から8月18日(土)の間※は、予約不要で体験実施いたします。どなた様も参加いただけますので、この夏は、工芸館へご来館ください。

※ 8月13日(火)休館。都合により実施していないメニューもありますので、詳しくは、生活工芸館 HP をご覧ください。

●三島町生活工芸館 ☎（48）5502

工芸館だより 39 〓ものづくりの伝承〓



ポリファーマシー

vol.93

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎48-5565



あなたは薬いくつ飲んでいますか？

病気の種類が増えたり、受診する医療機関が複数になると、一度に飲む薬の数も増えてしまいます。すると、薬が効きすぎたり逆に効かなかったり、副作用が出やすくなることもあり注意が必要です。飲んでいる薬が6種類以上になると、副作用を起こす人が増えるというデータもあります。

「ポリファーマシー」って聞いたことがありますか？

多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態をいいます。単に服用する薬の数が多いことではありません。薬が追加されたり、変わったりした後は特に注意しましょう。



お薬手帳を持ちましょう！

自分に処方されている薬がわかるように、お薬手帳は1冊にまとめておきましょう。



「なにか変だな」「いつもと違う」と感じたら？

気になる症状があっても、勝手に薬をやめたり減らしたりするのはよくありません。薬によっては、急にやめると病状が悪化したり、思わぬ副作用が出る場合があります。必ず、医師や薬剤師に相談しましょう。

薬以外で飲んでいる健康食品やサプリメントがある場合は、その情報も伝えましょう。

食欲低下
ふらつき
便秘
尿が出にくい
物忘れ
気分が沈む
眠気など

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

●利用時間

月～金 午前9時～午後9時
土(日)祝 午前9時～午後5時

●お休み

年末年始

●公民館 ☎（48）5599

●今月のおすすめ

カフネ

阿部 暁子 著



弟が遺した遺言書から弟の元恋人・小野寺せつなに会い、やがて彼女が勤める家事代行サービス会社「カフネ」の活動を手伝うことに。弟を亡くした薫子と弟の元恋人せつな。食べることを通じて、二人の距離は次第に縮まっていく。

●図書の紹介



子どもを呪う言葉 救う言葉

出口 保行 著



大ピンチずかん2

鈴木 のりたけ 著



パッチワーク

マット・デ・ラ・ペーニャ 著



国環研だより 第72回

暑い夏に適応していこう～熱中症の予防～

三島町のみなさま、こんにちは。今年も暑い日が続いていますね。近年は温暖化の影響もあり、以前に比べて暑い日が多くなっています。例えば7月23日には、今年初となる北海道も含む全国40都道府県で熱中症警戒アラートが発表されました。皆さんも日頃から熱中症の対策をしていることとは思いますが、今回は厚生労働省や環境省が公開している情報をもとに予防について考えていきましょう。

熱中症を防ごう

厚生労働省のサイト（参考1）には熱中症の予防方法として「暑さを避ける、身を守る」「こまめに水分を補給する」とあり、これは皆さんも実践されているのではないかと思います。屋外だけでなく家の中でも熱中症になる危険性はあるため、エアコンや扇風機を使って室内の温度調節をすることも重要になります。

熱中症に関係する指標には、「暑さ指数」というものがあります。皆さんはこの指標をご存じでしたでしょうか？

暑さ指数をチェックしよう

暑さ指数は正式には「WBGT（Wet Bulb Globe Temperature：湿球黒球温度）値」と呼ばれていて、①湿度、②日射・輻射などの周辺の熱環境、③気温、の3つを取り入れた、人体と外気との熱のやりとりに注目した指標です。計算式は、屋外の場合は「 $0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$ 」となっていて、湿度を重視していることが分かります。湿度が高いと汗が蒸発しにくくなり、体内の熱をうまく外に逃がしづらくなってしまうことから、同じ気温でも湿度が高い方が熱中症になる人が多くなることが知られています。

暑さ指数（WBGT）	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 28℃以上 31℃未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 25℃以上 28℃未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 25℃未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver4」（2022）より改編

環境省のHPにある「環境省熱中症予防情報サイト（参考2）」には、暑さ指数地図が掲載されており、全国各地のその日の暑さ指数を見ることができます。

またこのサイトでは、その暑さ指数が高い際に「熱中症警戒アラート（WBGTが33℃以上）」や「熱中症特別警戒アラート（WBGTが35℃以上）」が発表されます。今夏も厳しい暑さとなっていますので、こういった情報も参考に熱中症予防に取り組んでいきましょう。

【参考】

1. 厚生労働省「熱中症予防のための情報・資料サイト」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/index.html

2. 環境省「熱中症予防情報サイト」

<https://www.wbgt.env.go.jp/>

天気予報で天気や最高気温を確認すると一緒に、暑さ指数や熱中症警戒アラートについても日々チェックして予防することが大切だね！



筆者 常盤 達彦

●国立環境研究所福島地域協働研究拠点

地域環境創生研究室 ☎ 0247（61）6572

町史編さん室だより

第103回

冬の通学の道踏みに修繕費を

明治四十四年の村会建議

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎（52）2165

奥会津7町村文化施設間連携事業企画展「奥会津の冬」の三島会場として、交流センター山びこでは三島町域の冬にまつわる映像や写真、民具や近代文書などを9月29日まで展示中です。その展示物の中から、明治44年（1911）の村会（村の議会）で建議された通学児童のための道踏みに対する修繕費についてのエピソードを紹介します。

建議
一、通学児童保護ノ為メ冬季中道路修繕費トシテ壹ヶ年ニ付金貳拾円組合村税ヨリ支出スルコト

理由 我力組合村ハ教育ノ施設全ク成リ宮下外他五ヶ字ニ対シテハ本校或ハ（期節）分教場期設校ヲ設置セラレ児童通学ノ便遺憾ナキヲ認ムルニ足ル獨リ桑原大登川井ノ三字ニ対シテハ何等ノ施設ナク児童通学困難状況見ルニ堪工サルナリ

右建議候也

明治四十四年三月十九日

議員 栗城 龜三郎 馬場 幸作
佐藤 倉次 角田 伊作

議員馬場幸作外三名ヨリ提出ノ建議案ヲ付議ス、提出者十一番及九番ヨリ本案提出ノ旨趣ヲ弁明シ西川村桑原大登川井ノ各大字ヨリ通学スル児童ノ冬季間ノ困難殊ニ小川原部落ヨリノ通学生及農業補習学校通学生ニ就テハ衷心同情ニ値スルモアリトテ雪中児童送迎ノ現況等縷々陳情スル所アリ、四番議員道踏料ヲ年々支出スルモノナルヤヲ問ヒ十一番然ル旨ヲ答フ、依テ議長ハ本案ノ可否ヲ起立ヲ以テ採決セルニ起立者少数ニテ否決（明治四十四年度 西川村外二ヶ村組合 議事録より）

野川原）からの通学や農業補習学校への通学生に対しては心から同情すると述べています。
議事録を読むと、道踏料として20円を毎年支払うのかと問われ、そうであると答えており、結果として町税からの負担が年々続くことを嫌ったのか、本件があくまで桑原・大登・川井だけの事情であるからかはわかりませんが、起立を以て可否を採決する際、議員の起立者少数でこの建議は否決されています。

除雪機械のない時代の冬の道づくり、そして通学の苦勞がうかがえる内容です。
※ 現在の三島町は宮下村と西方村が昭和30年（1955）に合併してできました（合併時は三島村）。宮下村は昭和17年（1942）に西川村・原谷村・三谷村が合併した村であり、以前は三村が合併せず組合となつて村政を行っていました。

（町史編さん室）



▲踏み俵での道踏み

昭和50年代か（齋藤茂樹氏撮影）

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました（6月分）

ふるさと納税

寄附件数 15 件 計 153,000 円

8月分納税のご案内

【納期限 9月2日㊤】

▼ 町県民税（普通徴収）（第2期）

▼ 後期高齢者保険料（普通徴収）（第1期）

忘れずに納付してください。

問町民課 町民係 ☎（48）5555

🌸 お悔み申し上げます

飯塚 勲 様（82才・大石田）

町の人口と世帯（7月1日現在）

人口	1,354	増減数	-2	出生	0
男	686		0	死亡	1
女	668		-2	転入	1
世帯	682		-1	転出	2

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

ひまわりサロン

8月19日㊤
午前10時から
町民センター

高清水・小山
いきいきサロン

8月19日㊤
午前10時から
高清水集会所

滝谷和楽塾

8月20日㊤
午前10時から
滝谷集会所

西方ほがらかサロン

8月22日㊤
午前10時から
森の校舎カタクリ

サロンなごみ

8月22日㊤
午前10時から
西方ふるさとセンター

間方いきいきクラブ

8月23日㊤
午前10時から
間方集会所

サロンないり

8月28日㊤
午前10時から
名入集会所

大石田友遊サロン

8月5日㊤
午前9時から
旧大石田分校校庭

大石田友遊サロン

9月2日㊤
社会見学

大登サロン

8月5日㊤
午後1時30分から
大登生活改善センター

桧原はつつクラブ

8月6日㊤
午前10時から
桧原集会所

桧原はつつクラブ

9月3日㊤
午前10時から
桧原集会所

川井友愛サロン

8月7日㊤
午前10時から
川井集会所

浅岐あったかサロン

8月8日㊤
午前10時から
浅岐集会所

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

飯塚 徹 様（大石田）

町社会福祉協議会へのご寄附
（一般のご寄付）

ボランティアつくしんぼ

問社会福祉協議会 ☎（52）3344

消防署からのお知らせ

夏季の事故に注意！！

アウトドアが増えるこの季節
様々な事故等が発生しています！

水難事故



花火の事故



山岳事故



熱中症



蜂刺され



健康状態や天候にあわせた
無理のない日程計画をしましょう！
また、複数名による行動を心がけ
単独行動はしないでください！！

問会津坂下消防署 三島出張所
☎（52）3032 / FAX（52）3033

「こどもの人権相談」強化週間の実施

福島地方方法務局と福島県人権擁護委員会連合会は、8月21日から27日までの7日間、全国一斉「こどもの人権相談」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰などこどもの抱える人権問題について、電話及びSNS（LINE）による人権相談を実施します。相談は、人権擁護委員会及び法務局職員が応じ、秘密は守られます。期間中は、平日の夜間、㊤㊤も相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

【期 間】 令和6年8月21日㊤～27日㊤まで

【時 間】 平日8：30～17：00 休日10：00～17：00

【電話番号】 0120-007-110（フリーダイヤル）

【SNS】 LINE 公式アカウント名 「SNS人権相談」

検索ID @snsjinkensoudan

問福島地方方法務局人権擁護課 ☎024-534-1994

県立宮下病院からのお知らせ

8月5日㊤より、耳鼻咽喉科の診察日が変更となります。

（変更前）毎週 ㊤・㊤・㊤



（変更後）毎週 ㊤・㊤・㊤

なお、その他詳細につきましては、宮下病院代表電話までご連絡ください。

問県立宮下病院代表電話 ☎0241（52）2321

会津坂下警察署からのお知らせ

クマ注意報発令！

会津坂下警察署管内でのクマの目撃が多発しています。クマが目撃された場所は、山間部やその付近だけではなく、会津坂下町の住宅街にも出没しています。

クマによる被害を防止するために、以下の対策を推進しましょう。

- ・クマの足跡や糞を発見したらその付近から離れる
- ・クマが活発に行動する朝夕の外出を控える
- ・クマの通り道である河川敷や藪の草刈りを行う
- ・敷地内への侵入を防ぐために車庫や倉庫の戸締

SNSを利用した詐欺に注意！

急増！「SNS型投資詐欺」！

○SNS型投資詐欺とは

SNS型投資詐欺は「必ず儲かる」「あなただけに教える」等の広告や有名人の名前を使うことで興味を引き、SNSでメッセージのやり取りを重ねて信頼させてから「投資金」や「手数料」といった名目でネットバンキングなどの手段によりお金を振り込ませる詐欺です。

「必ず儲かる」投資は存在しません！

甘い話には十分注意しましょう！！

問会津坂下警察署警務係 ☎0242（83）3451

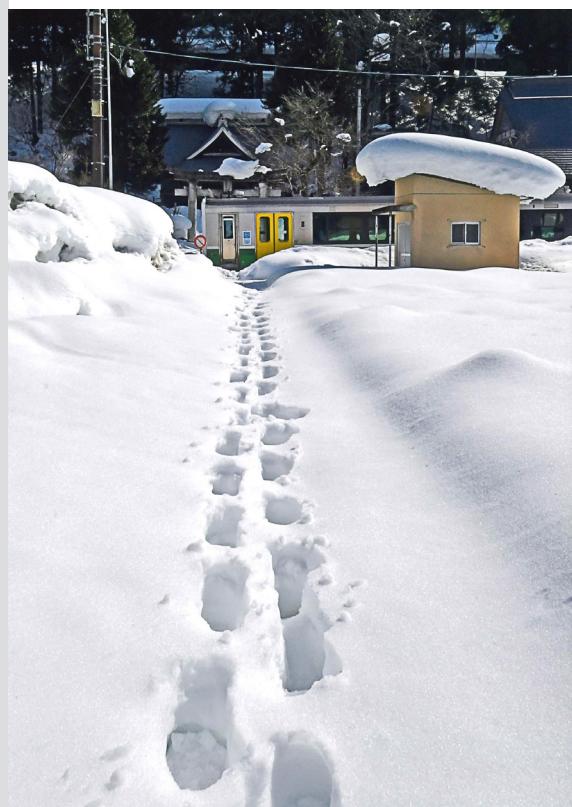
第14回

『撮』

つておきの みしま町フォトコンテスト



第13回三島町教育委員会教育長賞「第三鉄橋雪景色」大峯秀明



第13回三島町長賞「足跡」大島市郎



第13回写真クラブ『写団・道奥21』会長賞
「今年もおいしいご飯食べれるね」二瓶朋子

作品募集期間 令和6年 6月29日（土）～ 令和6年10月20日（日）必着

作品展示期間 令和6年11月30日（土）～ 令和7年 2月24日（月・振休）

展示会場 三島町交流センター山びこ 〒969-7402 TEL 0241-52-2165
福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418

入場料 無料

休館日 月曜日（月曜祝日の場合火曜日）、令和6年12月27日（金）～令和7年1月5日（日）

開館時間 午前9時00分～午後5時00分（最終入館 午後4時30分）

主催 三島町教育委員会 **共催** 写真クラブ『写団・道奥21』 **三島町文化協会** **後援** 福島民報社 福島民友新聞社